

2. メモリバックアップ電池の交換

プログラムが電源OFF時にも消えることのないよう長寿命のリチウム電池でメモリのバックアップを行なっています。

著しい高温又は低温場所での使用を除き、通常の使用条件では約5年の寿命がありますが、電池の電圧が低下するとメモリの記憶が失われるため、寿命の来た電池は早急に交換する必要があります。

(1) 電池電圧低下の検出

電池の電圧が低下するとCPUパネル面及びプログラムのBATTのLEDが点灯すると同時に内部リレー377番がONになります。

(2) 電池の交換

電池電圧の低下が検出されたら、10日以内に電池の交換を行なって下さい。

●電池の形番 RB-5

●この電池は光洋電子工業でコネクタ付リード線を取付ています。従って発注は光洋電子に行なって下さい。

●交換方法

- (1) AC電源を落とした後1分程度待ちCPUモジュールを基本ベースより抜取る。
- (2) 電池とCPU基板を接続している小型プラグを抜く。
- (3) 電池ホルダーのフック部をつまんで開き、電池が取出せるところまで持上げて取出す。
- (4) 新しい電池を装着して電池ホルダーで固定する。
- (5) 電池リード線先端のプラグを基板上的コネクタに差し込む。
- (6) 電池交換の終わったCPUモジュールを基本ベースに取付ける。
- (7) AC電源を投入しBATT表示が消えていることを確認する。

(注) ロットNo8905以前のCPUについては、プログラマにより内部リレー377番を強制OFFする必要があります。
この操作はRUNモードで行ってください。

操作:

電池交換時のRAM電源は大容量コンデンサにて保持しています。このため古い電池のプラグを外した後、直ちに新しい電池を装着して下さい。

又交換用電池(新)は交換前に3V以上の電圧がある事を確認して下さい。

